

特許紹介

第22巻第1號 昭和11年1月

コンクリート用塗料製造法

(特許第 112753 號 出願 9-6-12)
特許権者 (發明者) 高松 信一

此の發明は、運搬乃至保管上經濟的なパラフィン自体の濃厚な乳劑を直接に生成せしめ、且つこの乳劑を稀釋しコンクリート用塗料面に塗布滲透せしめることに依つて、塗料の耐久力及びコンクリートの強度を増大せしめ、且つ兩者の離脱を容易ならしめる塗料の製造法を目的としたものであつて、即ち固形パラフィンの破碎小片に適量の粉末石鹼と少量のアラビヤゴムを混じ、之に比較的少量の水を添加して加熱攪拌を行ひ、各配合資料を均質に混和せしめ、クリーム狀パラフィンを生成する工程と、前記クリーム狀パラフィンを冷却せしめた後、更に比較的多量の水を添加して攪拌を行ひ、均質なパラフィン糊狀体を生成する工程とより成るものである。

紙又は布に防濕防水性を附與する方法

(特許第 112853 號 出願 9-7-21)
特許権者 (發明者) 瀧口 誓一

此の發明は、紙絲布又は其の加工品に醋酸礬土の水溶液を浸潤せしめた後、之を適度に乾燥させる第1工程ビスコース液を第1液とし、別に高沸點の芳香族炭化水素溶劑を溶媒とした脂肪酸又は樹脂酸の可溶性石鹼類の溶液に乾性油又は半乾性油並に高沸點の脂肪族炭化水素化合物を加へた第2液を作つた後、第1及第2液を混和し、斯くて得た特殊エマルジョンを第1工程を経た紙布又は其の加工品の内部に均等に滲透せしめる第2工程を経た被處理物をビスコース凝固浴槽中に通し、直ちに水洗乾燥する第3工程を順次に施す方法である。

井戸集水方法

(特許第 112806 號 出願 9-10-5)
特許権者 (發明者) 清水本之助

此の發明は、井筒底部側壁に窓孔を設け、井筒の直径又は幅より短かい長さを有し、多數の小孔を穿つた集水管を窓孔を

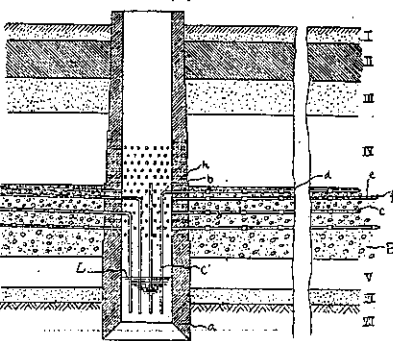


圖 1

通して滯水砂礫層に向ひ、順次継ぎ足し乍ら打ち込み、井筒の直径の數倍乃至數十倍に達せしめ、且つ其の一端に井戸底に向つて垂下した吸出管を接続する井戸集水方法である (圖 1)。

特殊ポルトランドセメント製造法

(特許第 11394 號 出願 9-4-2)
特許権者 (發明者) 湯坂 善徳

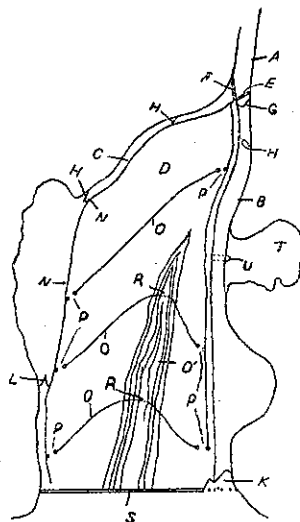
此の發明は、色澤優秀で強度大なるセメントを得る爲に考案せられたものであつて、ポルトランドセメント原料中にチタン化合物を添加し、焼成してできるクリンカー中に酸化チタニウム 0.5% を含有するやうにしたセメント製造法である。

低地改良装置

(特許第 113973 號 出願 8-6-21)
特許権者 (發明者) 河部 政雄

此の發明は治水を完全ならしめ、同時に壤土及び天然肥料分を自然的に低地に收積せしめて之を沃田化する爲に考案せられたもので圖 2 に就いて之を説明すれば、水害の虞ある低地の改良又は開墾に於て、兩側に適宜の高所を辿つて貯水池兼備の水路 (B) (C) を設け、其の分岐點には濾過壁 (F) 及び堰堤 (E) を施し、各水路の要所には上流に於て取水するも逆流を防止調節すべき貯排壁 (H) を設け、更に一方水路 (C) の下流には、溢流線を延長した過剰水迅速排除門 (L) を装置し、又他方水路 (B) には河川から流下する肥料分及び壤土と砂礫と要水と過剰水とを分離するやうな装置 (G) (H) を設け、其の放水口には河川から流下する過剰水の排除門と低地から流下する害水の排除門との機能を備へた排水門 (K) を設け、耕地には多數の畦畔を抱容して適當に區劃する横断堤防 (O) を築き、其の内部に凹地

圖 2



(D') がある時は、下層水の緩流と上層水の排除とを調節し得る樋門(P)を設けたものである。

特殊混合セメント製造法

(特許第 113003 號 出願 9-11-29)
(特許権者 (發明者) 永井 彰一郎)

此の發明は、其の儘ではセメントとして有効に使用することのできない資料を利用配合し、特に海水、下水、鍍泉水等の鹽類含有水に對する抵抗性が大であつて、且つ長期高強度の特性ある混合セメントを得る爲に考案せられたものであつて、即ち火山灰、壩母又は頁岩灰と石灰石又は其の燒成物とから特殊の成分を有する燒塊を

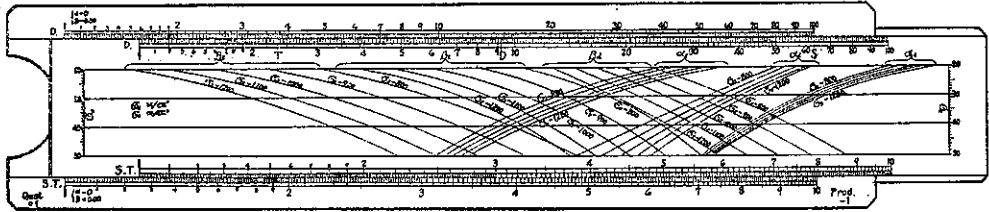
環(7)で緊締し、前記傾斜面との間に楔形間隙を形成せしめた管接合装置である。之に依つて受ける直接の効果は、鈔(1)の外周(2)が丸味を帯び且つ又柔軟輪(5)の寄敏並に噴出を利用し氣密接合上に有效ならしめた爲、柔軟輪の接觸面積が増大し、従つて輸送物の漏洩無く、又接合に際し管を廻転或は前後の移動をするも柔軟輪の内面を損することがない點にある(図3)。

鉄筋コンクリート計算尺

(特許第 113005 號 出願 9-1-6)
(特許権者 (發明者) 中間 友繁)

此の發明は、曲げモーメントを受ける鉄筋コンクリー

図 4



燒成し、之を第1要素とし、更に可溶性珪酸及び可溶性礬土を多量に含有するもの例へば頁岩灰高炉礬滓、珪藻土、珪酸白土、溶珪白土、壩母、火山灰等を第2要素とし、此等第1第2要素を混合して微粉に粉碎して特殊混合セメントを製造する方法である。

管 接 合 装 置

(特許第 113015 號 出願 9-7-30)
(特許権者 (發明者) 柳 武雄)

此の發明は、管(3)の兩端に外周(2)に丸味を帯び、且つ背面に傾斜面を設けた鈔(1)を管(3)の中心線と或る角度(4)を保つて、同じ方向に傾斜するやうに設け、前記鈔部(1)を衝合し、其の外周に跨つてゴム等の柔軟輪(5)を嵌着し、之を兩側に垂直壁(7')を設けた緊締割

ト版、矩形梁、及び丁形梁の応力計算及び断面の決定を簡單迅速に且つ精密に行ひ得る計算尺を目的としたものであつて、即ち固定尺の目盛を横軸として之に鉄筋コンクリート版、矩形梁及び丁形梁の有効高及び所要鉄筋量を表はす式 $h-a = \alpha \sqrt{M/b}$ 及び $As = \sqrt{M/b}$ に於ける係數 α, β の種々の値をとり、之と直角に滑尺の兩端に設けた縦軸にコンクリートの応圧力 σ_c の種々の値を目盛り、 σ_c と α 及び β に對する鉄筋の応張力 σ_s の曲線を滑尺上に畫き 図 4 各目盛及び滑尺上の任意の點を指摘し得る複式カーソル 図 5 を取付けたものである。

図 5

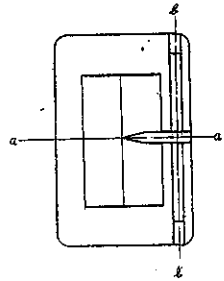
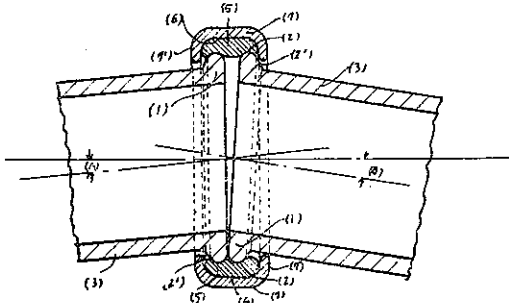


図 3



(附) 登 録 實 用 新 案

コンクリート管の鉄筋

(第 213295 號 實用新案權者 公告 10 年第 9048 號 旭コンクリート工業株式會社)

土木用セメント乳製造機

(第 213387 號 實用新案權者 公告 10 年第 7483 號 鹽田岩治)

給水調整器

(第 213389 號 實用新案權者 公告 10 年第 7930 號 ジェムス・ケースツツウエア 外4名)